平成24年8月1日（水曜日）

“ふるさとちば”のための政策推進を

秋山光章（みつあき）県議会リポート

発　行／自由民主党千葉県議会議員会　〒260-0855　千葉市中央区市場町2番13号　電 話 043(227)7411

南房パラダイス

南房総地域の観光
風評被害で深刻な事態！

施設継続を強く要望

本会議場の壇上から南房観光の窮状を訴える秋山光章県議

◆館山市特集◆ 6月県議会一般質問

県南地域の発展を願い、館山市から2期目の県議会活動に汗を流す秋山光章（あきやま・みつあき）県議は、6月定例議会の一般質問にも登壇し、県の行革で民間への移譲対象とされている南房パラダイスの運営継続について、あらためて県の基本方針を追及し、その存続を強く要請しました。また、秋山県議は壇上で大きなのぼり旗を掲げ、NHKの大河ドラマに里見氏を取り上げるよう誘致活動の一端を披露し、森田知事や県議会へ協力を求めました。

県「南パラは重要な観光拠点」

秋山議員　昨年3月11日に発生した福島第1原発の事故で、高濃度の放射性物質が放出されたことに伴い、被爆を懸念し、観光を敬遠するいわゆる風評被害により、千葉県の観光には甚大な影響が出ています。南房総地域も例外ではなく、深刻な事態が続いております。そうした中で、千葉県観光における南房パラダイスの役割について、県はどのように考えているのか。

商工労働部長　南房パラダイスは、昭和45年の開設以来、南房地域において観光振興を先導してきた施設であり、動植物園のほか、宿泊施設や道の駅を併設するなど、重要な観光拠点の一つと考えています。

同施設には、これまで県内外から多くの観光客に来園いただいていましたが、震災により利用者が激減し、指定管理者が撤退するという事態になりました。県としては、地域経済に与える影響が大きいことから、休園することなく、引き続き委託により営業を行なっているところです。

秋山議員　南房パラダイスに係る今後の県の方針はどうか。

商工労働部長　南房パラダイスは、平成22年3月策定の「千葉県行政改革計画」で、移譲・廃止の方向で検討するものとされ、本年3月策定の「公の施設の見直し方針」では、速やかに民間に移譲する施設とされております。

しかしながら、長引く経済の低迷と震災の影響により、民間の投資意欲が低迷している状況に加え、館山市をはじめ地元3市1町などから、施設継続についての強い要望が寄せられているところです。

また、本年4月から新たな委託業者による管理運営が始まり、地元と一体となった物産展の開催や、最近人気の高まっているサイクリング愛好者向けのオリジナルグッズの作成・配布、さらにはインターネットを活用した宿泊客予約システムの導入など、さまざまな利用拡大に向けた取り組みが進められています。

県としては、これらの成果や新たな取り組みをしっかりと見極め、検討してまいりたいと考えています。

施設リニューアルを要望

秋山議員　県南の館山市及び関係市町、商工関係団体などから、県による所有継続の強い要望が出されているところであった状況にあっても、行革方針に基づき、民間移譲を行なうつもりなのか。

商工労働部長　県としては、現在の委託業者による利用拡大に向けたさまざまな取り組みの成果や、今後の新たな取り組み見極めることが大事だと考えています。

要望　メインの展望塔をはじめ、施設の老朽化などで立ち入り禁止の個所がたくさんあります。施設のリニューアルにぜひ取り組んでいただきたい。

老朽化で立ち入り禁止区域の多い南パラ

●県政や館山市のご相談、ご意見を聞かせてください

秋山みつあき 県議会議員 事務所
〒294-0045　館山市北条2570-11 SKビル101
TEL.0470-23-5252
FAX.0470-23-5251

館山港へのアクセス強化を要望！

6月県議会一般質問

壇上から大河ドラマ誘致の
のぼり旗を見せる秋山県議

里見氏を大河ドラマに

秋山県議は、6月議会の一般質問に先立ち、壇上で大きなのぼり旗を掲げ、里見一族をテーマとしたNHKの大河ドラマ化について、地元館山市を中心に誘致運動に乗り出していることを力強くPRしました。

秋山県議は、「我々を育み、受け継いでいるふるさとの歴史、文化を大切にし、広く伝えていくこと。それが千葉の魅力、元気の、大事な発信になるのだと思いますので、ぜひ、NHKの大河ドラマ化の実現にさらに頑張ってまいります」と語り、森田知事にも協力を求めました。

船形バイパス整備へ都計変更を

秋山議員　私は、館山市の進める「海辺のまちづくり」のさらなる魅力向上の取り組みの一つとして、館山道富浦インターチェンジと館山港のアクセス強化は不可欠と考えます。そこで、館山市の北の玄関口である船形地区を生かした（仮称）船形バイパスの整備が必要だと考えております。

このうち、館山市域内については、館山市が都市計画事業として整備する意向を示し、事業化に向けた調整を進めているところです。今後、この路線を館山市が事業化するためには、都市計画道路船形館山港線を延伸する都市計画変更が必要であり、館山市もその準備を進めているところです。

そこで伺います。都市計画道路船形館山港線の都市計画変更について、県はどのように考えているのか。

都市整備局長　今回の都市計画変更は、国道127号バイパスから館山港等へのアクセス強化を図るため、当該路線を南房総市境まで延伸するものです。

県としても、今回の変更により、観光をはじめ地域の活性化や利便性の向上に寄与するものと認識しており、当該路線の都市計画変更については、市に必要な助言を行なうとともに、今後とも連携して取り組んでまいります。

犬掛館山線

秋山議員　（仮称）船形バイパスのうち、国道127号福沢交差点からJR内房線を跨ぐ仲尾川橋までの県道犬掛館山線の整備について、どのように考えているのか。

県土整備部長　県道犬掛館山線は、館山市の都市計画道路と一体となって、多目的観光桟橋や北条海岸へアクセスし、館山市が進める「海辺のまちづくり」に大きく寄与する道路と考えています。

この道路は、市が実施する都市計画道路事業の進捗にあわせ、昨年度の概略設計に引き続き、平成24年度には、測量等の調査を実施する予定です。今後とも、地元市と連携を図りながら、事業の推進に努めてまいります。

農業後継者対策に「婚活」を提案

秋山議員　2010年の国立社会保障・人口問題研究所の人口統計資料によると、50歳までに結婚したことのない「生涯未婚率」が年々高くなっており、男性は2005年に比べて4・2ポイント増の20・1%、女性は3・4ポイント増の10・6%となっていると、先日、新聞紙上を賑わしていました。

農村地域では、未婚者の増加は、出生率の低下や将来の担い手不足に拍車をかけるものです。農業後継者対策の一環として、今で言うところの「婚活」に積極的に取り組むところが出てきています。農業分野においても、後継者対策の観点から、こうした取り組みを進めていくことが必要ではないかと思いますが、農業後継者の生涯未婚率はどうなっているのか。

農林水産部長　同調査では、農業者に係る数値は公表されていません。そこで、国勢調査を基に本県農業者の生涯未婚率を試算したところ、男性は23・9%、女性は4・1%となりました。この結果、男性農業者の生涯未婚率は、県全体に比べて3ポイントほど高く、女性の場合は、5ポイントほど低くなっています。

秋山議員　県は、県内各地で行われる婚活イベントを県のホームページで情報提供すべきと思うがどうか。

農林水産部長　県内では、市町村を始め、商工会、商工会議所や農協、青年農業者グループなどさまざまな団体が婚活イベントを実施しています。そこで、市町村を中心に行なう取り組みを県のホームページで情報提供しているところであり、今後もこうした取り組みを応援してまいります。

要望　人口が減っています。婚活について、県としても本腰を入れて実施していただきたい。

自席から再質問する秋山県議

放射性物質の農地への影響

秋山議員　県は、県内農地の放射性物質の状況をどのように把握しているのか。

森田知事　県は、昨年12月までに国と協力して、県内の53市町村の計103地点について、放射性セシウム濃度の調査を実施しました。

その結果、100ベクレル以下が34地点、100を超え500ベクレル以下が58地点、500を超え800ベクレル以下が11地点となっています。昨年9月に国が公表した、除染技術の考え方によると、5千ベクレル以上の農地は、直接表面の土を削り取るなどの除染対策が求められておりますが、本県はそのようなレベルとはなっていません。

要望　伊豆大島のアシタバから放射性セシウムが検出されました。大気に拡散した放射性物質が、40日間で地球を一周するので、いつどこで放射能が落ちてくるか分かりません。県南の放射性物質の検査もよろしくお願いしたい。

秋山議員　水田における放射性セシウムの吸収抑制対策にどのように取り組んでいるのか。

森田知事　稲のセシウム吸収を抑えるためには、水田の表面近くのセシウム濃度を低下させることや、セシウム吸収抑制作用のあるカリ肥料の投入が効果的だということが明らかになっています。このため、県では、水稲作付け前に15センチを目安に深く耕うんすることや、カリ肥料の適正使用を農家に呼びかけたところです。

秋山県議の質問を聞く傍聴席の皆さん

お知らせ　秋山光章県議の一般質問は、千葉県議会のホームページから、インターネット中継（録画）でご覧になれます。